

県指定 無形民俗文化財

早吸日女神社八人太鼓 附獅子舞



西野浦早吸日女神社の7月29日の大祭に奉納されるもので、社伝によれば、正徳2年(1712)3月、神殿を再建した時に演舞されたものが始まりと伝えられている。神社には御神体が三体鎮座しているので神輿が三基御幸する。神輿三基にそれぞれの八人太鼓組が付き、神輿に従って演舞する。演舞は全て笛吹がリードする。獅子は一頭二人立ちで、鈴と軍配を持つ花踊六名が付く。神殿から神輿をくわえ出す所作のときは単独である。